

静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO. 2021-17 喉頭乳頭腫(再発性呼吸器乳頭腫症)に関する全国疫学調査
当院の実施責任者研究及び職名	耳鼻咽喉科 医師 川崎泰士
他の研究機関および各施設の研究責任者	福島県立医科大学 耳鼻咽喉科 室野重之 (研究代表者) その他、気管食道科学会認定専門研修施設
研究期間 (西暦)	当院倫理委員会承認後～2021年10月31日
対象期間 (西暦)	2018年1月1日～2019年12月31日
研究の目的	再発性呼吸器乳頭腫症 (以下、喉頭乳頭腫) は良性の腫瘍であるが、多発傾向、再発傾向のある、きわめて難治性の疾患である。声帯をはじめとする気道に好発するため、腫瘍が増大すれば呼吸困難をきたす。そのため気道の維持を目的に頻回の手術を要する症例も少なくない。難治性の疾患でありながら、指定難病ではないことや、悪性腫瘍ではないことから、疫学を含めた調査・研究の対象から漏れることが多い。本研究は、全国規模で新規ならびに既存の喉頭乳頭腫症例を調査することにより、わが国における喉頭乳頭腫の疫学を明らかにすることを目的とする。疫学や治療の状況を把握することは、治療指針の探索のためのデータベース構築の礎となることが期待される。
研究の内容	喉頭乳頭腫症例のある施設に対し、二次調査として、症例調査票による調査を実施する。新規症例、既発症例のいずれにおいても、症例数、年齢、性別等の患者背景因子、Derkayスコアに基づく重症度、手術術式等の疾患背景因子の集計を行う。また、新規症例の一次治療後の再発率および全症例の手術間隔ならびに年間手術回数も求める。本研究は疫学調査であり、二群間等での比較検討は行わない。

個人情報の取扱い	多施設共同研究であり、共同研究先である上記の研究機関・研究責任者のみへ提供する。氏名（電子カルテ ID）を研究対象者 ID に置き換えることで、匿名化する。
問い合わせ先 (拒否等受付窓口)	【研究担当者】 所属：静岡赤十字病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 氏名：耳鼻咽喉科医師 川崎泰士 住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2 電話：054-254-4311